

1 単元構想

(1) 身に付けさせたい資質・能力および児童の実態

	身に付けさせたい資質・能力	児童の実態
関心・意欲・態度	文章の組み立てを考え、話題と筆者の考えの進め方に対して自分なりの考えをもとうとしている。	国語の学習に意欲的に取り組める児童が多い。
読む能力 書く能力	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者が話題としていることや主張していることを読み取っている。 ・筆者の考えや、考えの進め方について感じたことを、引用したり内容を要約したりしながらまとめている。 ・筆者の考えに対する自分の考えを書くことができる。 	児童は、第4学年で事実と考えを読み分け、段落同士の関係を考える活動を行ってきた。また、段落同士のつながりに気をつけて読み、要約する活動も行ってきた。これらの活動を通して、文章構成を意識しながら筆者の主張を読み取ったり、要約したりする力が徐々に育っている。しかし、語句や文末表現への注意が浅く、段落相互の関係づけが曖昧になり、筆者の主張とそれを支える根拠を捉えたり、要約したりすることが難しい児童もいる。また、意見文に対しては、初め・中・終わりを意識して書くことはできる児童が多い。しかし、根拠や理由を1つあげるだけで終わっていたり、入っていないと、説得力のある文は書けていない。
言語についての知識・理解・技能	語句と語句の関係に気をつけて、筆者の考えの進め方を読み取っている。	簡単な「初め・中・終わり」の文章構成図を書くことはできる。しかし、中におけるさらなる細かい文章構成を考えるとところまで入っていない児童が多い。

(2) 目標 要旨を捉えて自分の考えを明確にしながら読み、筆者の考えや文章の書き方についての感想を発表し合って、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。

(3) 評価規準

【国語に関する興味・関心・意欲】文章の組み立てを考え、話題と筆者の考えの進め方に対して自分なりの考えをもとうとしている。

【読むこと】・筆者が話題としていることや主張していることを読み取っている。

・筆者の考えや、考えの進め方について感じたことを、引用したり内容を要約したりしながらまとめている。

【書くこと】筆者の考えに対する自分の考えを書くことができる。

【言語に関する知識・理解・技能】語句と語句の関係に気をつけて、筆者の考えの進め方を読み取っている。

(4) 単元の計画および指導方針

時間	ねらい	評価項目（評価内容及び評価方法）	【学びの必要性】なぜそのことを学ぶのか？	「主語」・「接続語」・「文末表現」の視点から
1 2	「見立てる」を読み、文章構成や例の挙げ方について考えながら、筆者の考え方を捉えることができる。	【関】文章の組み立てを考え、話題と筆者の考えに対して自分の考えをもとうとしている。（発言・観察）	文章構成の捉え方（「初め」「中」「終わり」） 要旨の捉え方 筆者の主張を見付けるためのキーワードを探す	<ul style="list-style-type: none"> ・本や文章の中から、必要な言葉や文を書き抜くため。 ・「そのために」の役割を知り、接続後を使った分かりやすい文が書けるようにするため。
3	題名から、詳しく読んでみたいことを話し合い、全文を読み通し、感想をまとめることができる。	【読】題名から興味・関心をもって文章を読み、感想をもっている。（ノート）	題名をもとに学習への意欲を高め学習計画を立てる	<ul style="list-style-type: none"> ・主述の関係「～は、～しています。」 ・接続後「そのために」 ・文末表現「しています。」「つくってあります。」
4	文章全体の構成を捉えることができる。筆者が話題としていることや主張していることを読み取ることができる。	【読】文章構成の工夫を考えながら、全文を大きく四つのまとまりに分けている。（ノート） 筆者が話題にしていることや主張していることを読み取っている。（ノート・発言）	観点を基に内容の整理をする	「あります。」
5	筆者の考えの進め方について話し合い、説明の仕方の工夫を捉えることができる。	【読】筆者の考えの進め方について自分なりの考えをもち、説明の仕方の工夫を捉えている。（ノート） 語句と語句の関係に気を付けて、考えの進め方を読み取っている。（発表）	段落と段落の関係から考えの進め方を読み取らせる	<ul style="list-style-type: none"> ・主述の関係「～は、～しています。」 ・接続語「そのために」 ・文末表現「あります。」「つくってあります。」
6	「初め」と「終わり」に着目して、筆者が一番伝えたかったことについて話し合い、要旨をまとめることができる。筆者の考えや考え方の進め方について、自分の考えを書くことができる。	【読】「初め」「終わり」に着目して用紙をまとめることができる。（ノート） 【書】引用したり要約したりしながら、筆者の考えに対する自分の考えを書いている。（ノート）	文末表現に着目する	<ul style="list-style-type: none"> ・本や文章の中から、必要な言葉や文を書き抜くため。 ・正しい接続語を使えるようにするため。
7	筆者の考えや考えの進め方について、自分の考えをもつことができる。	【書】筆者の考えや考えの進め方について、自分の考えをもっている。（ノート）	相手の良さを見つけ、自分の感想や意見を伝えられるようにするため。	・文末表現「なっています。」「ついています。」

